

「かんはれ赤ちゃんなえ！」

最上町立向町小三年 阿部 市香

わたしは、毎日お米がおいしいなと思いな  
がら食べています。なぜかというところ、パ  
パが一生けんめいに作ってくれたお米だか  
らです。パパのお米はあまくておいしいな  
。気持ちかこもっているな。  
そう思うともっとおいしく感じます。また、  
わたしは五月になるとかならず手伝いをし

ます。わたしが手伝っていることは、たねう  
えのじやんびです。その甲でもきかいを使  
ってたねに土をかいて作るうかどくいで  
す。その作り方でほとレイが曲がらないよ  
うにすばやくやっています。そして手伝  
った後はにはばハウスの中でどんどん葉が  
はがのびていく様子を見ながら、  
「大きくなっただね赤ちゃんなえ。」  
と思います。うちでれたお米は、赤くう  
温せんスキ

場である。ヒュッテチロルで使ってもら  
 ています。とくに名物のジンギスカン定食で  
 は、どんぶりにも山もりのごはんが  
 つまみですが、  
 お客さんが  
 「お米がと、とてもあまくておい  
 しいね。」  
 と言っておかわりしているところを  
 何回も見  
 ました。そこには、  
 ういいたわたしにお店の  
 人から、  
 「この子のおうちで作っているん  
 ですよ。」  
 とお客さんに伝えてくれました。  
 その時は、

としてもうれしい気持ちになりました。  
 今年は、雪不足で水が足りな  
 かったこと、  
 先日の大雨のえりきょうで、  
 大きくなるか心配  
 していました。田んぼの前も  
 通るたびに、  
 「かんばれ！大きくなっ  
 てね。」  
 とねがっています。そして、  
 お米がとれたら  
 チロルのお客さんのように、  
 大きなどんぶりを  
 食べたいです。

5  
10  
15  
20